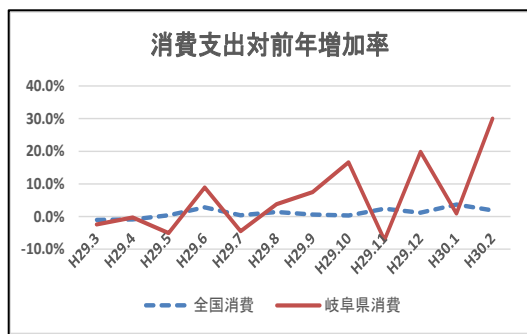


地域経済動向調査レポート

第4号

本レポートは、経済産業大臣の認定を受けた経営発達支援計画に基づき作成・発刊致します。地域の商工業者様が経営に有効活用できる情報を当商工会が収集分析、提案して参ります。掲載内容についての詳細な内容、具体的な経営活用の手法についてご相談がございましたら、お気軽にお問合せください。

▶岐阜県内の消費動向速報



平成 29 年 11 月は全国水準を下回りましたが、12 月は年末年始の需要の高まりもあり、消費動向は大きく拡大しました。

しかし、1 月は 12 月の反動で消費動向は大きく減少しました。2 月になると春の季節需要で大きく伸びており、引き続き消費動向の拡大が期待されます。

出典：岐阜県環境生活部統計課

▶地域別景況予報 (H30.1~3月)

地域名	総合指数	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要
岐阜	☀️	☁️	☀️	☀️	☀️	☁️
西濃	☀️	☁️	☀️	☀️	☀️	☁️
東濃・加茂	☀️	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️
飛騨・郡上	☀️	☁️	☀️	☀️	☀️	☁️

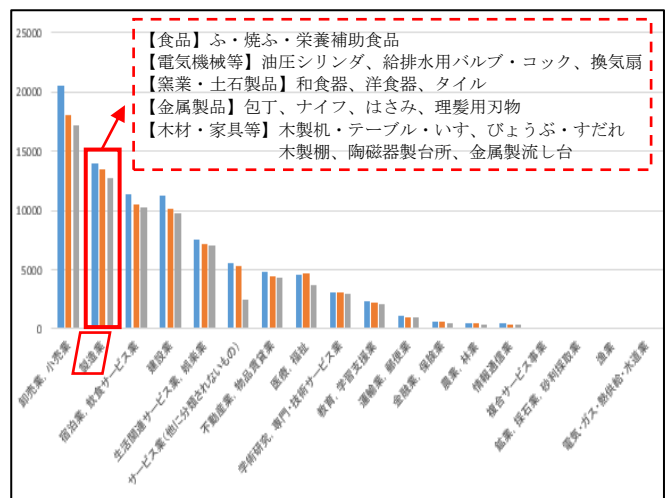
岐阜県の景況感は全体の警告として改善傾向にありますが、内訳を見ますと、前回同様「生産活動」・「設備投資」の伸びが大きいです。「個人消費」は、回を追うごとに回復傾向にありますが、業種による好不調の差が顕著になっています。また、仕事はあるものの、人材の確保難や人件費負担など人手不足による影響が広がっているようです。西濃地域は、「資金需要」が悪化しており、今後も同様の傾向が続くと見込まれます。景気全般は今期水準では回復基調にありましたが、今後悪化することが見込まれています。

出典：(株)OKB 総研 K-REX (公開値の加工編集を施しております)

▶ 私達の町の経済情報

私たちの住む岐阜県の産業構造についてご存知ですか？岐阜県は卸売業と小売業が最も多く、次に製造業といった産業構造です。特に、製造業の生産品目では、右記のように幅広い品目が全国シェア 1 位～2 位を占めており地域によって様々な特色が表れています。岐阜県では、地域情報化推進政策を進めていますが、西濃地域には、情報産業を育成、振興、集積する中部の一大 IT 拠点である「ソフトピアジャパン」があり、IT 関連産業も盛んです。こうした地域の特色を把握することで、商品開発や販路開拓に新しい発想が生まれるかもしれません。商工会では、県下のネットワークを活かして連携の仲介などに尽力してまいります。

【岐阜県における産業動向の推移と全国シェアの高い出荷額の生産品目】



出典：地域経済分析システム「RESAS」

▶ 商工会トレンド発掘隊 VOL. 4 「いまの情報発信のトレンドは動画！？ムービージェニックとは」

去年は、流行語大賞が『インスタ映え』となったこともあって、SNS を集客・販促の手段として活用している事業者の皆様も多いと思いますが、時代のトレンドは刻々と変化しています。

第 4 回商工会トレンド発掘隊では、新たな集客手段と注目されている ムービージェニック（動画映え） について紹介します。

「写真とは何が違うの？」と思われるかもしれませんが、想像してみてください。例えば、「右の写真のように熱によってチョコを溶かしていく瞬間や、肉の山を崩していく様子」、「よく買うあの商品の普段では見ることのできない製造の裏側や、開発のストーリー」など、見るとワクワクしませんか？このように写真では伝えきれない“動き”や“音”などの情報を発信ができるのが動画の魅力です。

商工会では、こうしたトレンドを反映した集客・販促手段を事業所の皆様と一緒に考え、販売戦略の策定や具体的な顧客獲得・販路開拓をお手伝いさせていただきます。商工会と一緒に、新たな集客や販路の一步を踏み出してみませんか？



▶ 最先端技術紹介コーナー

▶ やってみよう財務分析！！第 4 回「売上高営業利益率」

顧客満足度向上・業務効率化を実現！！？

チャットボットの活用！！

日用品 EC サイト「ロハコ」

“マナミさん”という AI が、チャット形式で、ネットショッピングおける顧客の疑問に 24 時間リアルタイムで答える。

人間の代わりにコミュニケーションを自動で行うチャットボット (AI) は、LINE・facebook などのアプリの普及を背景に BtoC 向けサービスでの活用が期待されています。今後、社内活用・取引実行・処理代行へと活用範囲が拡大すると見込め、同技術の活用で、顧客満足度向上・業務効率化につなげることができるとも思われます。

営業利益 = 売上高 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

売上高営業利益率 = 営業利益 / 売上高 × 100

営業利益とは、**本業でどれだけ儲かったか**を表す数値で、数値が大きいほど良い企業とされます。その営業利益を売上高で割った指標が売上高営業利益率です。この指標から、企業が事業活動から稼ぎ出す利益についての収益性が判断でき、**企業の本業の収益力の強さ**が分かります。こうした指標は、企業の営業努力を判断する上で、重要な指標といえます。下記の業種別の売上高営業利益率と比較し、高いのか低いのか参考値としてみてはいかがでしょうか。

『中小企業庁による売上高営業利益率の目安』

全業種平均：2.1%（1%～3%が標準で5%を超えると優良）
 （製造業：1.1% 建設業：2.6% 卸売業：1.3% 小売業：0.8%）

商工会では財務分析を初めとした経営分析の支援を実施致します。どうぞお気軽にお声かけください。

▶ 経済コラム VOL. 4 「人手不足の今こそ生産性向上を」

▶ ハローワーク別有効求人倍率速報

近年、人手不足・長時間労働などの労働環境の悪化が顕在化していますが、今後 15～64 歳の労働人口はますます減少することから、更に深刻化すると見込まれます。そのため、中小企業においても、改善に向けた一步を踏み出す時期が訪れようとしています。

そこで、上記の問題の解決策として「労働生産性を向上させるための取り組み」が必要とされています。

労働生産性を向上させる取り組みとしては、IT の利活用、設備導入などによる業務の見直し等が挙げられますが、特に、「いかに“無駄な仕事で”働かないか」を考えることがとても大切です。

地域名	H29/12	H30/1	H30/2	H30/3
岐阜	2.25	2.39	2.40	2.30
大垣	1.81	1.80	1.85	1.83
揖斐	1.19	1.22	1.18	1.27
多治見	2.21	2.20	2.16	2.14
高山	1.39	1.33	1.28	1.39
恵那	1.52	1.65	1.72	1.47
関	1.79	1.80	1.84	1.75
岐阜八幡	1.38	1.37	1.40	1.33
美濃加茂	1.49	1.55	1.45	1.42
中津川	2.01	1.98	2.01	1.93
岐阜県	2.03	2.03	2.02	1.98

西濃地域では、大垣は、1.8～1.85 前後で推移している一方で、揖斐は上昇傾向にあるため、求人難が深刻化すると予想されます。